

長崎県気候変動適応センターについて

長崎県環境保健研究センター

企画環境研究部 企画・環境科

長崎県気候変動適応センター を開所しました！



長崎県気候変動適応センター



気候変動適応センターの活動状況

これまでの取り組み

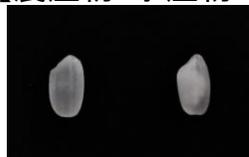
- ◆ 気候変動適応センターホームページの作成・公開
- ◆ 気候変動適応に関する研修会の開催（県内市町担当者向け）
- ◆ イベントでのブース出展



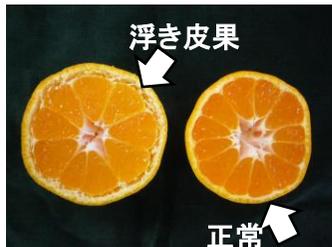
ながさきエコ・ライフフェスタ2021 ブース出展

(パネル) 本県における気候変動の影響

【農産物・水産物への影響】



←高温障害を受けたコメ
(左)正常
(右)白濁している

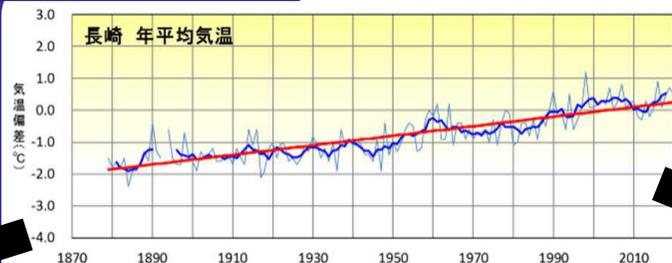


↑高温障害を受けたみかん
(写真左)温州みかんの日焼け果
(写真右)温州みかんの浮き皮果



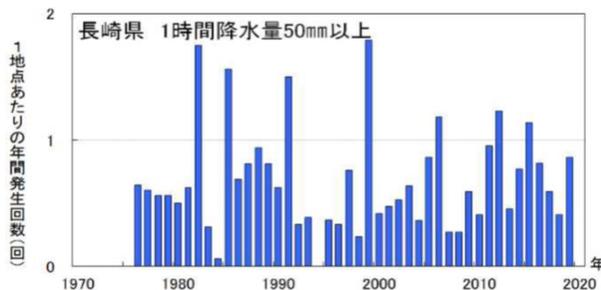
↑ウニ等による磯焼け
海水温の上昇により、海藻類の食害を起こす生物の活動期間が長くなることで豊かな漁場となる藻場が減少する被害が生じています。
※写真はウニ(ガンガゼ)の駆除の様子

気象に関する現状



長崎県の年平均気温の推移

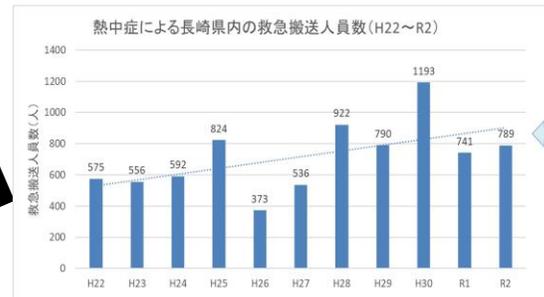
長崎の年平均気温は、**100年あたり1.50℃の割合で昇温**しています。これは、日本の年平均気温の上昇(1.26℃/100年)割合よりも大きい数値です。(気象庁、2020)



長崎県の短時間強雨(1時間降水量50mm以上)の年間発生回数

短時間強雨については、優位な長期変化傾向はみられません。1976年～1985年の平均回数と比較し、2010年～2019年の平均回数は**約1.2倍に増加**しています。(気象庁、2020)

【熱中症】



↑長崎県内の熱中症搬送者数の推移
年々増加傾向にあります。



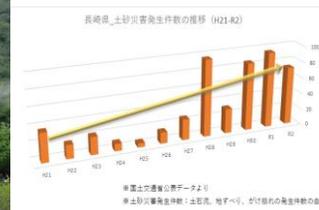
【土砂災害等】



←令和2年7月豪雨による大村市内の河川氾濫



↑令和3年8月豪雨による雲仙市内の土砂災害



↑長崎県の土砂災害発生件数の推移

(パネル) 長崎県内の適応事例

農産物・畜産物・水産物



高温に耐えられる品種(高温耐性米)の普及



↑家畜の夏バテ防止策

(写真左)クーリングパット、(写真右)扇風機の設定



藻場の再生の取組

写真は母藻設置の様子



↑食害生物の駆除

写真のナルトビエイは熱帯から亜熱帯に生息するエイ。近年、日本近海で見られるようになり、有明海の二枚貝が食われる被害が生じています。

気候変動の影響に
適応!
しよう

熱中症



↑データロガー

長崎県内の小学校にご協力いただき、県内の細かいメッシュにおける気温・湿度を測定することで、暑さ指数(WBGT)と熱中症搬送者数の状況を分析し、長崎県内の地域ごとの違いを調べるなどの研究を行っています。分かった熱中症の発生状況や原因について、注意喚起などの予防策につなげていくことを目標としています。

防災



↑長崎県総合防災ポータル

総合防災ポータルを充実し、台風・集中豪雨等に対する防災情報の収集や発信強化します。

(総合防災ポータル: <https://www.pref.nagasaki.jp/sb/>)



今後の活動について

今後の取り組み内容

◆セミナー、研修会の開催（一般向け）

◆県試験研究機関との連携 適応策に関連する情報収集、研究、開発の立案

- ・工業技術センター
- ・窯業技術センター
- ・総合水産試験場
- ・農林技術開発センター

◆【環境省委託事業】

国民参加による気候変動情報収集・分析委託業務への応募

1年目：情報収集・分析

- ワークショップ（一般対象）
- 事業者へのヒアリング（農林・水産事業者等）
- 収集した情報の科学的な裏付け（専門家ヒアリングなどによる妥当性の検討）

2年目：地域にとって特に重要な影響を抽出・将来予測の準備

3年目：将来予測の実施（次期適応計画へのインプット、適応策の実施、普及啓発）

気候変動適応センターの2040年イメージ

